

## サーバー電源操作手順書

停電の発生が事前に判明している場合は、サーバーを安全に停止／起動し、システムおよびデータの保全を行っていただくことができます。

お手数ではございますが、ご対応の程よろしくお願い申し上げます。

### 1. サーバーのシャットダウン

サーバーを安全に動作停止させるための手順を、「シャットダウン」と言います。

停電が発生する前に、手動でサーバーのシャットダウンを行う手順を説明します。シャットダウン操作を行う前の、サーバーの状態として以下の2つがあります。

- (a) ログオフ状態
- (b) ロック状態

※本手順書では、「Windows Server 2003」の画面で説明をしておりますが、Windows Server NT /2000 /2008 もほぼ同様の手順となります。

※Linux サーバーについては、弊社担当者まで個別にお問合せください。

※NAS サーバーについては、メーカー機種により操作方法が様々なため、メーカーホームページにてご確認ください。

## 1. 1(a) ログオフ状態からの操作手順

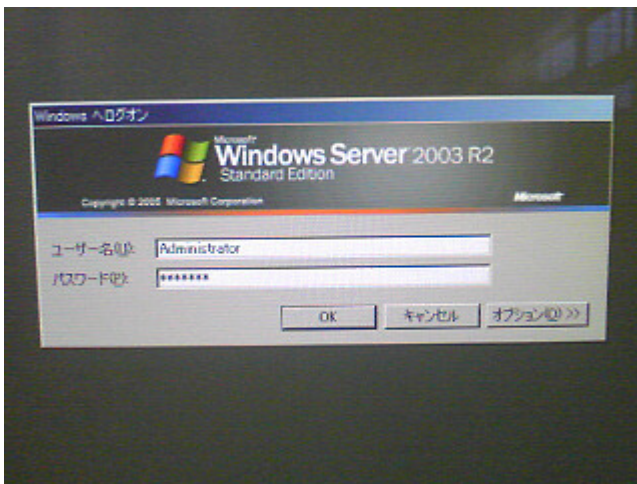
サーバーの画面に「Windows へようこそ」のウィンドウが表示されている場合は、ログオフ状態のため、ログオン操作を行う必要があります。

- (1) キーボードの最下段にある[Ctrl]キーと[Alt]キーを同時に押したまま、キーボードの右側にある[Delete]キーを押します。(3つのキーを同時に押した状態にする)



- (2) 以下の画面が表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力します。  
(サーバーの設定により3つめの項目が表示されている場合があります)

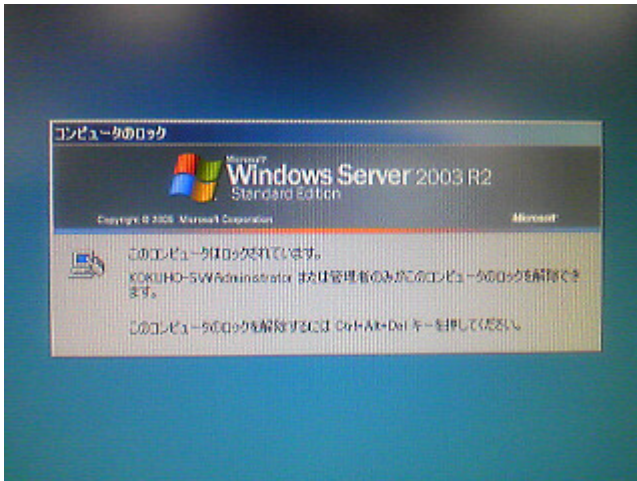
※入力すべきユーザー名とパスワードが不明な場合は、弊社担当者までご連絡ください。



## 1. 1(b) ロック状態からの操作手順

サーバーの画面に「コンピュータのロック」のウィンドウが表示されている場合は、ロック状態のため、ロック解除操作を行う必要があります。

- (1) キーボードの最下段にある[Ctrl]キーと[Alt]キーを同時に押したまま、キーボードの右側にある[Delete]キーを押します。(3つのキーを同時に押した状態にする)



- (2) 以下の画面が表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力します。  
(サーバーの設定により3つめの項目が表示されている場合があります)

※入力すべきユーザー名とパスワードが不明な場合は、弊社担当者までご連絡ください。



## 1.2 シャットダウン操作手順

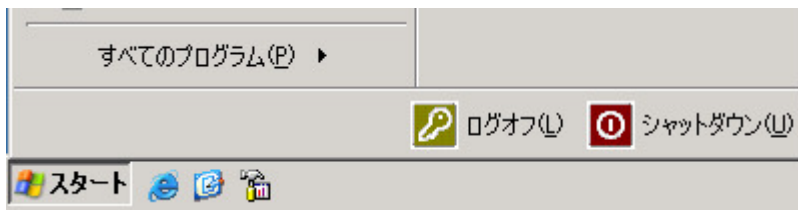
サーバーが操作できる状態になったら、シャットダウン操作を行います。

### 【ご注意！】

サーバーをシャットダウンすると、そのサーバーを利用する業務が利用できなくなりますので、事前に関係者に周知しておく必要があります。

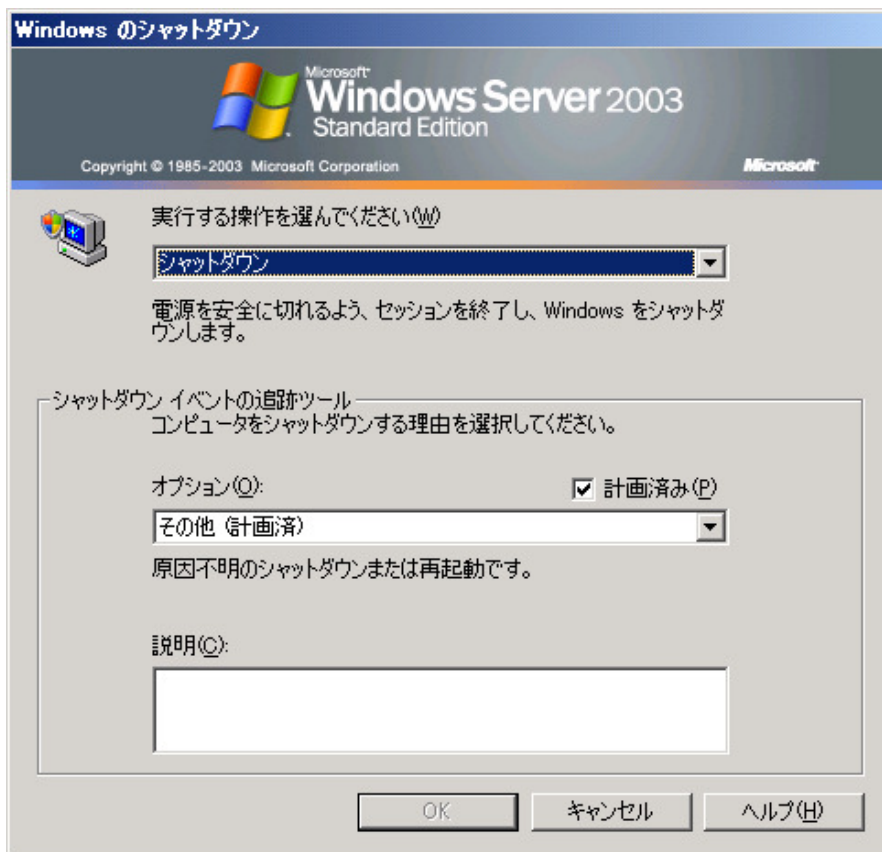
また、サーバー上で業務ソフトが稼動している場合は、先に停止させておきます。

- (1) 画面左下のスタートメニューから、「シャットダウン」をクリックします。

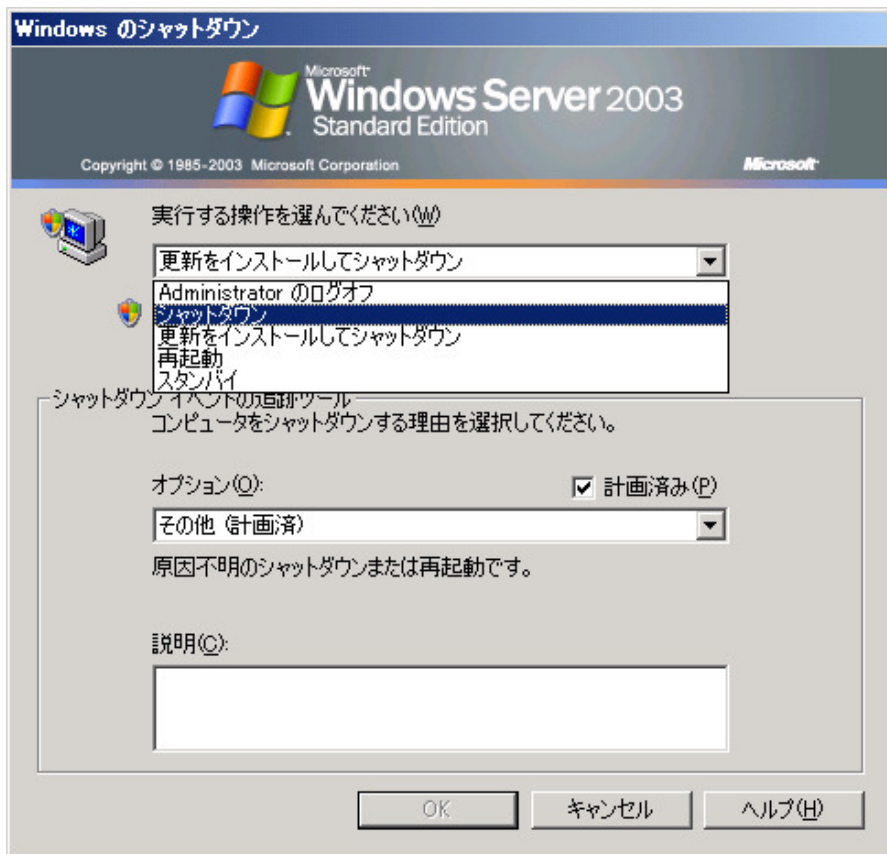


- (2) 「Windows のシャットダウン」のウィンドウが表示されます。2つの選択肢があるので、適切に選択する必要があります。

※Windows Server NT / 2000 の場合は、選択肢が1つのみです。



(3) 実行する操作を選んでくださいの選択肢では、「シャットダウン」を選択します。



(4) 実行する操作を選んでくださいの選択肢では、「ハードウェアメンテナンス (計画済)」を選択します。



(5) OK ボタンをクリックすると、シャットダウンが開始されます。

※途中で動作中のソフトがあるために、終了待ちのメッセージが表示された場合は、「今すぐ終了」を選択してください。



(6) サーバーの電源が自動的に切断されます。

(電球マークの電源ランプが消えている、サーバーから動作音がしない)



- (7) 無停電電源装置(UPS)の正面パネルにある「○」ボタンを押して、電源供給を停止します。  
UPS が電源供給停止すると、すべてのランプが消灯します。

※UPS の電源供給停止は必須ではありませんが、停電中は警告音が断続的に鳴ります。

【ご注意！】

---

UPS からの電源供給を停止すると、UPS のコンセントに接続されているすべての機器の電源が切れます。  
サーバー本体以外に、モニタ、外付け HDD、ハブ、ルーター等が接続されている場合は、動作に影響が無いことを確認してから、電源供給を停止してください。

---

【ご注意！】

---

複数のサーバーと UPS を運用されている場合は、サーバー本体と UPS の組合せに間違いが無いよう、すべてのサーバーをシャットダウンしてから、UPS の電源供給を停止することをお勧めします。

---

【ご注意！】

---

電源保安検査等で、電力会社・ビル管理会社より、壁の電源コンセントから機器を抜くように指示されている場合は、UPS の電源供給を停止してから行ってください。

---



## 2. サーバーの起動

停電が終了したら、サーバーを起動させます。

※UPS の動作停止を行っていない場合は、停電が終了してコンセントからの電源供給が再開されれば、サーバーが自動的に再起動されます。(サーバーの設定によります)

- (1) 無停電電源装置(UPS)の正面パネルにある「I」ボタンを押して、電源供給を開始します。  
しばらくの間、自己診断のためランプが点滅しますので、点滅が終了し点灯するまで待ちます。

※停電の影響で内部バッテリーが容量不足になっている場合は、警告音が鳴りますが、充電されれば解消されます。



- (2) サーバー本体正面にある電源スイッチを押して、電源を投入します。



※電源ボタンが外部にあるタイプ





※電源ボタンがカバー内部にあるタイプ

(3) モニタの電源を投入し、サーバー起動の遷移を確認します。



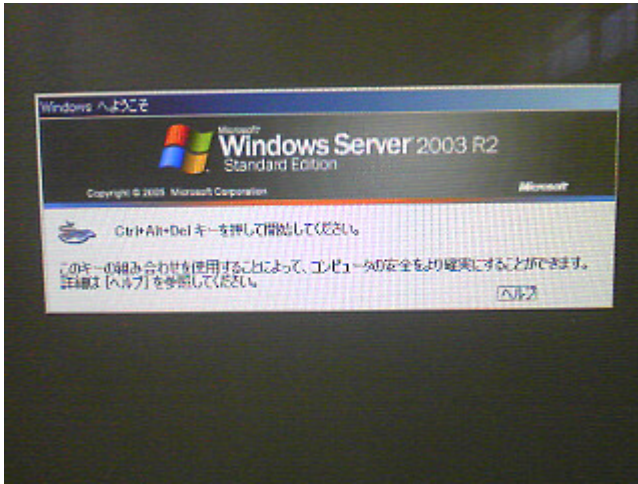
※メーカーロゴ画面



※Windows 読み込み画面

(4) サーバーの画面に「Windows へようこそ」のウインドウが表示されれば、サーバーの起動は成功です。

※業務ソフトによっては、サーバー起動後にログイン操作を行いサーバー上でソフトを起動する手順が必要な場合があります。



— 以上 —